



企画展
仏像は地域とともに
—みんなで守る文化財—



令和 4年 1月 21日	
資 料 提 供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担 当 者	主任学芸員 大河内
電 話	073-436-8670

企画展「仏像は地域とともに —みんなで守る文化財—」 開催のお知らせ

県立博物館では、令和4年1月29日(土)～3月6日(日)の会期で、企画展「仏像は地域とともに—みんなで守る文化財—」を開催します。

和歌山県には、各地の集落に多数の寺があり、そこには祈りの対象である仏像が数多く残されています。数百年、千年の時を超えて継承されてきた仏像は、人々の祈りの蓄積と、地域が経てきた歴史を物語ってくれる大切な文化財です。そうした仏像が、集落の人口減少や高齢化などの要因で日常的な管理が難しくなる中、盗難被害に遭う事例が増えています。

この企画展では地域で守り継がれた仏像と、実際に盗難被害に遭った仏像を展示するとともに、県立博物館が県立和歌山工業高等学校・和歌山大学と連携して製作した「お身代わり仏像」を活用した保護の取り組みを紹介し、文化財をみんなで守るこれからのあり方について、展示を通じて考えていただく機会とします。

出陳点数39件(81点)。うち県指定文化財2件(18点)、市町指定文化財11件(14点)。

別添チラシと、主な出陳資料もご参照下さい。これら資料に掲載している画像は、どれでもデジタルデータでご提供します。次のメールアドレスに必要な画像をお知らせ下さい。

admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

企画展 仏像は地域とともに —みんなで守る文化財—
会 期 令和4年(2022) 1月29日(土)～3月6日(日)
会 場 和歌山県立博物館 (和歌山市吹上1-4-14) 企画展示室
開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休 館 日 毎週月曜日
入 館 料 一般280円(230円)・大学生170円(140円)
※()内は20名以上の団体料金
※高校生以下、高齢者(65歳以上)、障害者手帳をお持ちの方、県内に在学中の外国人留学生は無料
※2月6日(日)、3月6日(日)は無料入館日



企画展「仏像は地域とともに一みんなで守る文化財―」の主な出陳資料

十一面観音立像（じゅういちめんかんのりゅうぞう）（写真左）

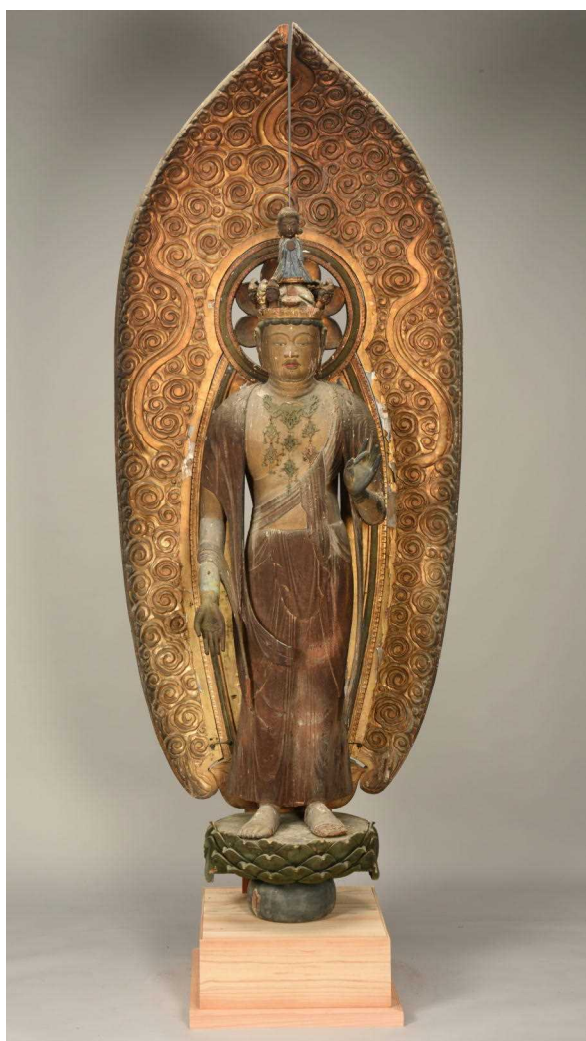
平安時代（12世紀） 西山観音堂蔵 紀の川市指定文化財

紀の川市貴志川町西山に所在する西山観音堂の本尊で、平安時代後期に造像された優美な姿の仏像です。像高182.4cm、等身大の大きな像ですが、平成30年3月に盗難被害に遭い、同年6月に転売先が判明して取り戻されました。被害時の衝撃で、仏像の台座や光背（仏像の背後に立てられた光り輝くようすあらかわす部品）が破損してしまい、令和3年度に、紀の川市の補助金を得て台座・光背の修理を行いました。今回の展示が修理後初公開です。

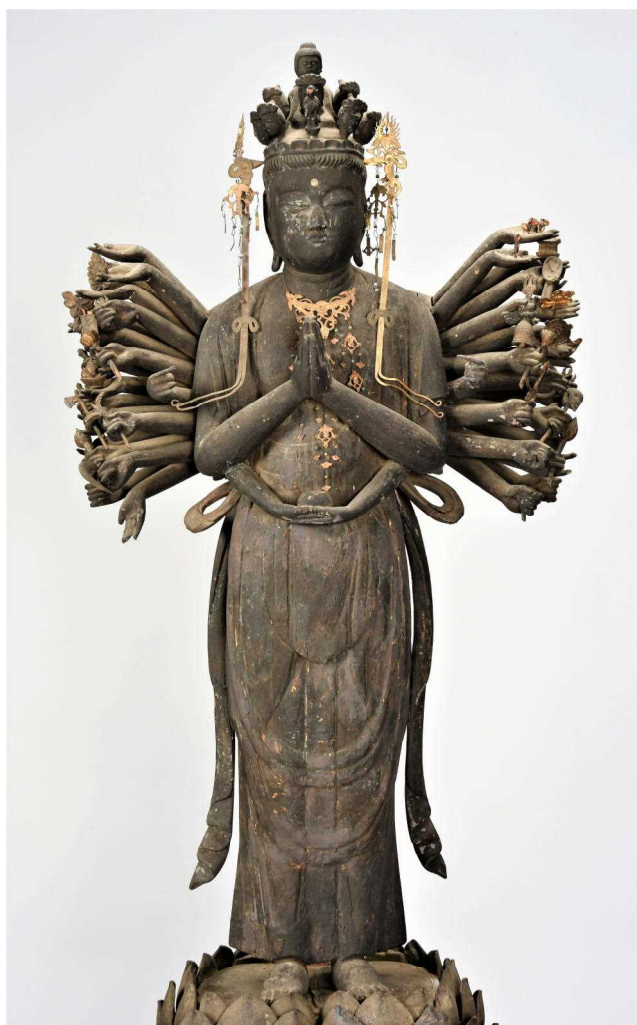
千手観音立像（せんじゅかんのりゅうぞう）（写真右）

平安時代（12世紀） 千光寺蔵 橋本市指定文化財

橋本市高野口町上中に所在する千光寺の本尊で、平安時代後期に造像された、穏やかな姿にあらわされた仏像です。像高104.9cm。平成22年9月に盗難被害に遭い、翌年4月の犯人逮捕後に、転売先から取り戻されました。被害に遭った際には、多数の小さな手が壊れてはずれ、堂内に散らばっている惨憺たる状況でしたが、その後の修理により元の姿を取り戻しています。今回の展示が寺外での初公開となります。



十一面観音立像 西山観音堂蔵



千手観音立像 千光寺蔵